教職員の勤務状況等調査結果【令和5年11月のまとめ】

令和6年1月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。令和5年11月分の勤務状況等調査の集 約結果を以下の通り報告いたします。3 学期が始まり、1 年間のまとめの時期となりますが、引き続き教職員 の働き方改革への御理解、御協力をお願いいたします。

令和5年11月の状況について

■令和4年11月との比較では、時間外在校等時間45 時間以下の方の割合がすべての校種で(特に小中学 校では顕著に)増加しております。文化祭、音楽祭など 行事等で忙しい11月ではありますが、45時間以下の 方が大きく増えていることは、各学校、教育委員会、そ れぞれの立場からの在校等時間縮減への御理解・御 協力の賜物と考えられます。ありがとうございます。

在校等時間の管理は、PC起動時間の測定やタイム カードなど、客観的な方法によるものとされております が、除外時間の申告等、一人一人の先生に手入力して いただかなくてはならない部分もあります。お手数をお 掛けしますが、引き続き御協力をお願いいたします。

			,
		45H以下	80H超
小学校	R4年11月	74.4%	1.3%
	R5年11月	81.4%	0.8%
		7.0 pt増	0.5 pt減
中学校	R4年11月	54.0%	7.1%
	R5年11月	59.2%	5.3%
		5.2 pt増	1.8 pt減
高等学校	R4年11月	75.0%	4.0%
(中等含む)	R5年11月	78.3%	3.5%
		3.3 pt増	0.5 pt減
特別支援	R4年11月	95.2%	0.0%
学校	R5年11月	96.8%	0.1%
		1.6 pt増	0.1 pt増



来年度の計画を立てる際の参考に「提言R6」の御活用をお願いいたします

■昨年12月22日に発出された「提言R6」はご覧いただけましたでしょうか。8月に実施された教職員 の業務状況等調査の結果などを踏まえ、学校の様々な行事や業務について、調査において「廃止・縮 小・ICT化」の回答が多かった業務例、今後更なる「廃止・縮小・ICT化」が期待される業務例などが 示されました。 学校向け

【学校向け提言の例】

「廃止・縮小・ICT化」が進んでいる業務例

- ○卒業式などの式典、運動会・体育祭【縮小】
- ○定例的な家庭訪問、夏休み中のプール開放【廃止】
- ○PTA懇親行事、PTA総会·役員会【縮小】
- ○保護者アンケート・希望調査【ICT化】 など

今後更なる「廃止・縮小・ICT化」が期待される業務例

- ○授業時数(余剰時数の削減)
- ○勤務時間外(夜間)の電話対応
- ○教材費等の会計業務
- ○宿題の管理、テストの実施・採点
- ○学級通信などの各種通信の配布、 生活ノート、連絡帳のやり取り
- ○研修・会議等の精選、オンライン化
- ○学校が関わる地域行事への児童生徒引率
- ○外部機関からの作品募集の取りまとめ

※今回の提言では、学校向け、教育委員会向けに合わ せて保護者・地域・関係団体向けメッセージが発出され ています。詳細は下記リンクを参照してください。

教職員の多忙化解消に向けた協議会からの提言R6について https://www.pref.gunma.jp/site/kyouiku/621263.html

令和5年12月 教職員の多忙化解消に向けた協議会

学校の業務はそれぞれ意義があり大切なものですが、<u>教職員</u> がゆとりをもって、自ら学び、子どもたち一人一人としっかり 向き合う時間を確保することにより、より豊かな学びを届ける ごとができます。 単介全校長と抽出校の教職員を対象に行った「教職員の業務 状況等調査」では、今年も成果が見られた一方、学校の働き方 改革の状況について抽出校の教職員の45%が「進んでいない」

改革の状況について抽出校の教職員の45%が、1連んといない。」 「どちらかといえば進んでいない」と回答しており、**教職員が 実感できる更なる取組が必要**であることも明らかになりました 各学校においては、この提言を基に、地域や関係者の理解を

得ながら**学校の実情に合わせた取組**を一層進めていただきます

■運動会・体育祭 (総小、簡略化や練習時間の削減など)



調査において「廃止・縮小・ICT化」の回答が多かった業務例 ■ 卒業式などの式典 (縮小、来賓の精選など)

■定例的な家庭訪問(廃止、総小、学校での面談に切替など) 原■PTA懇親行事(廃止、規模縮小など) ■ 学習指導案(記載内容の重点化や様式の統一など) ■夏休み中のプール開放(廃止など) ■ PTA総会・役員会 (縮小、書面による決議など) ■夏休み中の水泳指導(廃止、練習日の削減など) ■外部機関からの作品募集の取りまとめ(応募先の精選など) ■登下校指導(路上での交通指導) (場所や回数の削減など) ■学校が関わる地域行事への児童生徒引率(精選など)

■廃止(委託)

■マラソン大会(授業としての実施など) ■朝礼や朝読書などの業前活動 (校時表の見直しなど) **■** ■保護者アンケート・希望調査(フォームの活用など) ■児童生徒の出欠連絡(フォーム、アプリ等の活用など) ■児童生徒対象のアンケート(フォームの活用など) ■学級通信などの各種通信の配布 (クラスルーム、メール配信システム等の活用) 168

今後、更なる「廃止・縮小・ICT化」が期待される業務例

■授業時数 (余剰時数の削減) ※主に義務教育

年間の授業時数を計算し、余剰と なる時数の削減が進んでいます。 時数削減により、学期始めや学期 末に事務処理日(軽減日)を設定 することも可能になります。

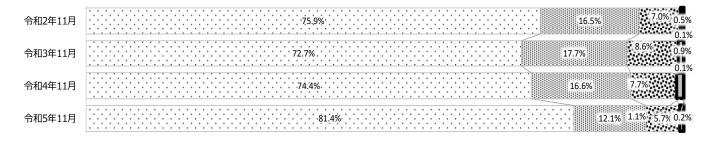
令和5年8月28日の中央教育審議会による「教師を取り巻く環境整備 いて緊急的に取り組むべき施策(提書)」においても、「令和5年度 において標準授業時数を大幅に上回って(年間1,086単位時間以上) 教育課程を編成していた学校は、令和6年度以降の教育課程編成にお 見直すことを前提に点検を行い、指導体制や教育課程の編成の工夫・改善 等により、指導体制に見合った計画とする必要がある。」とされています。

■勤務時間外(夜間)の電話対応(留守番電話や音声ガイダンス等の活用)

緊急性の低い連絡や報告などは**留守番電話 等の活用**で保護者・学校とも都合の良い時 間での対応ができます。緊急時の連絡体制 づくりには教育委員会との連携が重要です。

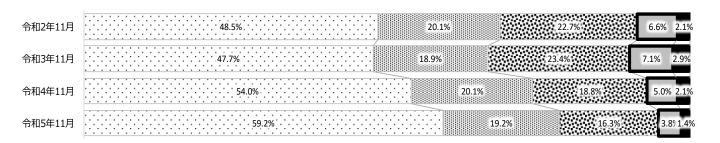
時間外在校等時間の状況【11月の経年変化】

1 小学校の状況



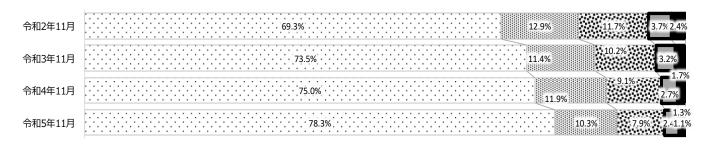
□45H以下 ■45H超 ■60H超 ■80H超 ■100H超

2 中学校の状況(市立の義務教育学校を含む)



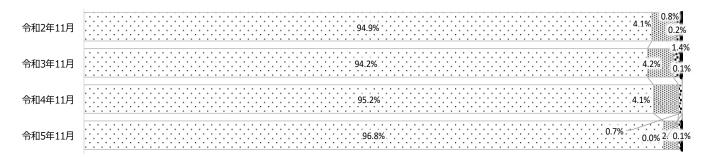
□45H以下 ■45H超 ■60H超 ■80H超 ■100H超

3 高等学校の状況(県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む)



□45H以下 ■45H超 ■60H超 ■80H超 ■100H超

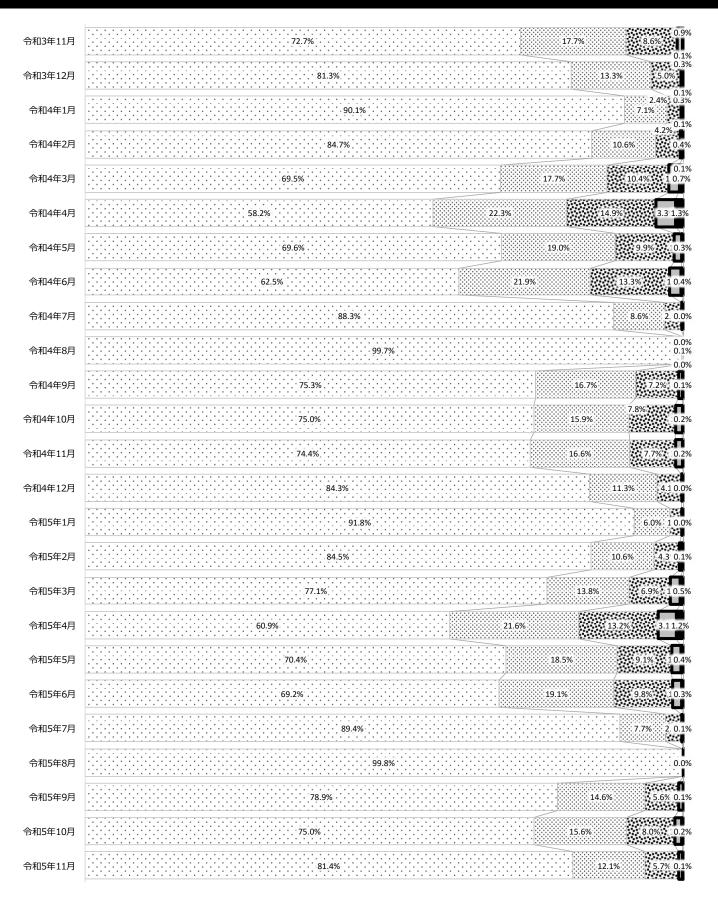
4 特別支援学校の状況(市立の特別支援学校を含む)



□ 45H以下 ■ 45H超 ■ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

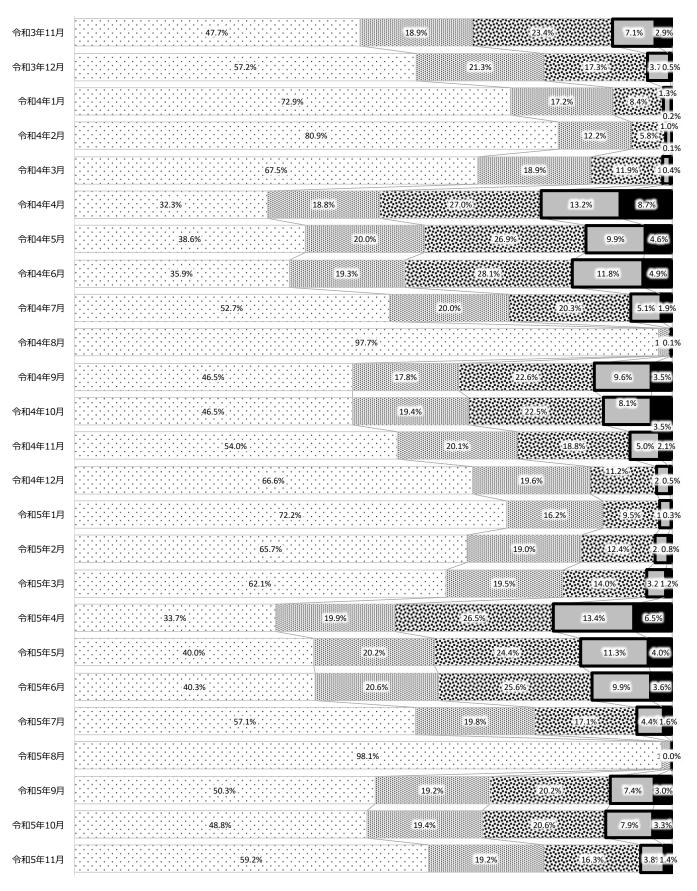
[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

1 小学校の状況



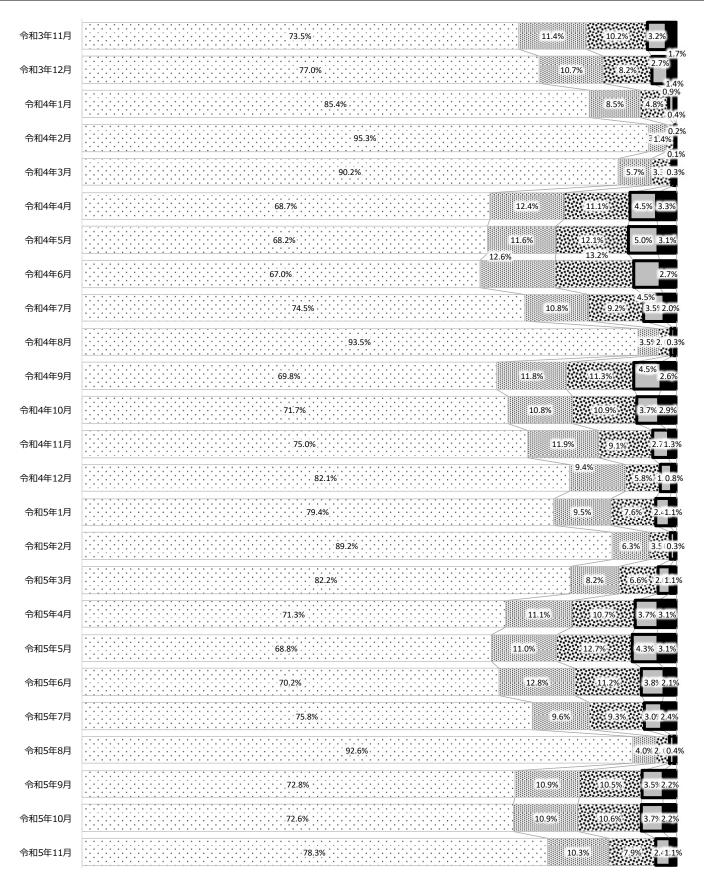
[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

2 中学校の状況(市立の義務教育学校を含む)



[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況(県立・市立の中等教育学校含む)



[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況(市立の特別支援学校を含む)

